

勉強しなくても入れるの？



最近世の中は学生に余り勉強をさせなくても次のステップへ上がっていかれるようになってきました。高校入試や、大学・専門学校でも様々な形の推薦制度により、余り勉強をしなくても進学できるようになって来ています。試験では分からない個性を評価するという点で良さもあります。就職試験でも、面接重視という中で、学科試験は単なるつまみ程度に受け取られる傾向が強くなっているように感じます。その結果、学生の学力低下があちらこちらで言われています。これで本当に良いのかな～とふと思ってしまうのは年のせいでしょうか。

若者を甘やかして、その甘やかした大人が嘆いているという変な構図です。少なくとも進学する生徒は、以前に比べて極めて容易に入学出来るようになりましたが、勉強をするために進学をするのですから、もう少し基礎学力をきちんと自分で付けて欲しいものです。とはいえ超難関校を目指す生徒は猛勉強をしているはずで。就職する生徒も面接対策さえやれば後はOKでは本当は困ると思うのですが・・・大人のぼやきでしょうか。もっともこの期に及んで、その面接対策もおろそかにしている生徒が何人もいますので・・・。多分そうした生徒は後で痛いめを見られると思いますよ。

進学者も、就職者も真の実力を付けるようもう少し勉強を心がけて欲しいものです。中国の学生は目の色を変え必死に勉強している者が多いと言われていますが、日本の将来が心配となります。

扉を開けたときには、
勝負はついている。

扉を開けてから、色々なことを知るの
では、遅いものです。

扉を開ける前に、知ることのできるこ
とは、知っておかなくちゃいけない。

知ったことについては、ちゃんと準備
できてる必要がある。

そもそも、扉を開ける気があるのなら、
それくらいの覚悟があって当然。

扉を開けたときには、勝負はついている。
(名言集.com より)

面接練習感想



就職希望者のほぼ全員が、2回目の面接指導を受けたと思います。指導していただいた多くの先生方から、この状況では落とされる生徒がかなり出そうだと感想が洩れています。

あらかじめ配布した質問項目に対してすら未だに余り考えておらず、面接練習中考え込んでしまう生徒も何人か見られました。本番前最後の練習のはずなのに。

全般的に危機意識が感じられません。極めて厳しい就職戦線を前にして、一番肝心の皆さんのほほと構えていたのでは、道はさらに厳しくなるでしょう。

その場になれば何とかかなるなどと思っていれば大間違いです。道は自分で開くもの。終わってからの反省は誰にでも出来ます。

後で惨めな思いをしないためにも、万全の準備をしておくことが何よりも大切です。